

～聞いてほしい！！ わたし達の主張を～

阿蘇市の子どもたちが阿蘇市長に本音をぶつけました。今後の阿蘇市を担う子ども達から貴重な意見がたくさん発表されました。今回、すべてを掲載することはできませんが、一部発表した内容を掲載します。子ども達の阿蘇市を想う意見に耳を傾けてみませんか？

※一部構成上当日の発言内容と若干異なる部分がありますご了承下さい。



この阿蘇という地にこれからの将来を担う私達が働きたいと思うような場所や、またはもっと多くの人たちが阿蘇市にきて働きたいと思えるような環境作りなどに関して市長はなにか考えを持っていますか。
通学路の街灯を増やし道を明るくすることはできないでしょうか。市長に学校の実態を知ってもらい、学校生活での安全を確保するという事について何かお考えがあれば教えていただきたいです。

一の宮中学校3年 加藤 沙椰さん

(市長)企業誘致の問題は公害を引き起こさない企業を選定しつつ、我々大人が責任を持って取り組まなければなりません。下校時の問題については、行政とともに民間の協力も得ながら早く安全性が保てるような街灯をつけるよう取り組んでいくように心がけて進めております。



阿蘇市の児童生徒数は年々減少傾向にあると思いますが、今後阿蘇市の小学校や中学校は統合されたりする計画などはあるのでしょうか。阿蘇中学校は校舎の年数が経っていて、壁のしみやヒビなど老朽化(老朽化)が激しく、先日の雨の日には雨漏りがありました。業者の方に改修してもらったりすることはできないのでしょうか。最後に、市長が阿蘇中学校にお出でになったときには是非各教室などを見学していただきたいと思ひます。

阿蘇中学校3年 笹木 良二さん

(市長)統廃合の問題は、地域の皆さんともよく相談し、子どもたちの将来において最善の方法はなにか今後検討しなければならぬ大きな問題だと思っております。校舎の老朽化の問題は、修理ができるところは早く修理するように、そして安全に学校で学習ができるように取り組んでいきたいと思っております。



阿蘇に文化的施設ができたらいいなと考えています。たくさんの文化事業が開催され、大人も子どもも楽しめるのではないかと考えています。安全と福祉のまちづくりに取り組んでほしいです。今この日本では僕たち子ども達が被害にあう信じられない事件がたくさん起きています。このような悲しい想いをする子ども達が一人もでないようにそんな町になればいいと思ひます。お年寄りの暮らしやすい町になればいいと思ひます。

阿蘇北中学校3年 岩本 拓也さん

(市長)施設が出来上がった後の維持管理の問題、有効利用の問題について、結局は大きな赤字を残すというような課題もあるため、慎重に前向きに今後も取り組んでいきます。安全と福祉についてですが、環境にもお年寄りにやさしいところにも配慮をしながら出来る限り施設の改修を今後行っていく必要があると思ひます。



阿蘇の自然や景観を損なうようなものは条例で規制することです。電線を地中線にしてはどうでしょうか。など、阿蘇の自然を生かしたまちづくりを行って行ってはどうでしょう。三つの町村が合併して阿蘇市になり、これから良い町を作っていくことはとても大切なことです。阿蘇市民が触れ合えるような行事を設けてみてはどうかと思ひます。働ける場の不足という問題を解消しなくては阿蘇をでていく若者は増え続け、阿蘇市の少子高齢化も急速に進むと思ひます。

波野中学校3年 高日 茉莉奈さん

(市長)私たちも真摯に自分たちの足元を見つめて、そしてこの阿蘇市というものを築き上げていきたいと思っております。電線の地中化の問題については、僕も同感ですが、しかし、地方は投資効果も少なく費用だけがかかるんじゃないかというような問題もありますので、課題として今後も考え続け取り組んでいきたいと思ひます。



阿蘇の大自然をずっと残したい、もっと人が集まる阿蘇にしたい、人に優しい阿蘇にしたい、という思いから3つのことを考えてきました。一つ目は火山博物館をもうちょっと火山や阿蘇の自然を体感できるような場所にしてほしいということです。二つ目は阿蘇をアピールするCMを制作して全国放送してはどうかということです。三つ目は人に優しい阿蘇にしていきたいということです。高齢者や障害者、子どもたちにも優しい阿蘇市にしていきたいと思ひます。

宮地小学校6年 那須野 愛里さん

(市長)もっとメリハリのある火山博物館を作っていたらいいように、火山博物館とともに協力取り組んでいきたいと思ひます。阿蘇のCMについては、もっともっとCMが外に発信できるように工夫をしながら、いろいろな意見も聞きながら、低コストでCMが発信できるようなことを取り組んでいきたいと思ひます。



クラスの学級会で阿蘇の未来について話し合いました。その結果、公園を作ってほしいという意見にまとまりました。その公園とは、広くて、緑があって、みんなが遊べる場所です。そんな環境の中で大人や子どももお年寄りもみんな遊べたらいいと思ひます。そして僕たちが大人になって子どもができたとき、その子どもたちが他の小学校と交流ができればとてもうれしいです。市長さん是非とも宜しくお願いいたします。

坂梨小学校6年 碓 竜海さん

(市長)大きな公園化をした環境に配慮したものについてですが、C.W.ニコルの『アフンの森』のような森を作り、その中で公園化をしていくことが自分の将来の大きな希望ですので、今後、今回の話をよく頭の中に叩き込んで、そして自然環境を守りながらダイナミックな公園というものを創り上げていきたいと思ひます。



6年生で10年後の阿蘇市は都会化したほうがよいという話題に沿って賛成派と否定派とが意見を言い、主張を言い合いました。阿蘇市では人や自然に優しい町という取り組みをしていき、グループホームや在宅介護の仕事や、道路や歩道の整備、阿蘇ブランドの野菜やお米作りを町が先頭になって進めてほしいと思います。私たちが阿蘇に住み、働き、安心して子育てができる町になってほしいです。自然と共存できるまちづくりを進めてください。

中通小学校6年 甲斐 春菜さん

(市長)自然と共存できるまちづくりを進めてほしいということですが、もちろんそのことが一番だと思います。環境をきちんと守って、住みやすい、みんながいいと思うような、そういう阿蘇市づくりのために、意見交換をしながら、いい阿蘇市というものを焦らず今後作り上げていくように努力をしていきたいと思っています。



3つお願いがあります。一つ目は野球やサッカーのできる広い施設を作してほしいということです。二つ目は自然と触れ合うことのできる施設を作してほしいということです。そして三つ目のお願いは、今回のまちづくりトークのように子どもの主張ができる機会をこれからもつくってほしいということです。みんなこんな町だったらな、こんなところがほしいなと思っているからです。子どもも大人も楽しめる楽しい町を創ってください。

古城小学校6年 山部 剛士さん

(市長)自然と触れ合うことのできる施設についてですが、今後、行政の中でもうまく公園化を図りながら川を利用して、住んでいる人たち、訪れる人たちがゆつくと自然に交わるような安全性のある川というものをつくり上げながら、そこで自然と触れ合うというものを作っていくのも必要ではないかなと思っています。



人に優しい施設を作りながらも十年後も今の阿蘇の姿を守るために、ゴミを不法に捨てたりしないように呼びかけたりして、みんなですべていつまでも阿蘇の自然を大切にしていきたいと思っています。お母さんは、僕が高校生ぐらいになったら野焼きのボランティアにいっしょに行こうよと言います。守り続けることは簡単のようで一番難しい、だから人の力が大切になると思います。

碧水小学校6年 本田 拓海さん

(市長)野焼きなどで自然を守り、この大きな自然を大切にしていきたいのですが、現在草原を利用してバイオマスエネルギーをひとつ取り組んでいこうなっております。草原の草をエネルギー化してガス化して、そして電力化してなんとか省力化していくというようなことです。自然を大切にするために期待されています。



阿蘇市に野球やソフトボール、サッカーができる屋根付きのドームがあるといいと思います。これからの日本は高齢化社会になっていくそうですが、おじいちゃんやおばあちゃんがのんびり過ごしたり、子どもたちの遊ぶ姿を見ながらほっとしたりできる場所をつくっていくことも大切だと思います。みんなが過ごしやすい、人に優しいまちづくりを、みんなで目指していきたいです。

乙姫小学校6年 塚本 和也さん

(市長)屋根付きのドームを創るとなるとお金がかかりすぎてどうしようかなというのが私の今の率直な気持ちであります。しかしながら、将来やっぱり求められるものであるんだということを感じながら、実現できるように取り組んでいく方向で頑張っていきたいと思っています。



阿蘇市にあるといいものというテーマで、市長さんとお話できるということでそのことについてたくさん考えてきました。阿蘇市にあってほしいと思うものは武道場、図書館などの学習施設、風力発電などの発電所です。阿蘇にはたくさんのクリーンエネルギーがあります。そのようなものを最大限に活かして発電などをすればとても阿蘇市に役立つと思います。このようなものを参考にいただければいいと思っています。

阿蘇西小学校6年 山本 雅進さん

(市長)阿蘇体育館の横にも武道場がありますし、あるいは一宮町のほうにも武道場があります。今後そういう施設があるということを知ってもらうように広報を通じてでもお知らせしていきたいと思っています。図書館についてももっと充実した書物がたくさんあるように品揃えもしていきたいと思っています。



みんながずっと住みたいと思える阿蘇市にするには、自然は今のまま大事にしながら、コンサートやイベントなど、文化・運動などをすることができるといいのではないかと考えました。また、そのことで働く場所も増えていくという利点があると思います。そして、そんな建物すべてにバリアフリーが発達することが大事だと思いました。これは施設面のことだけではなく、心の面でのバリアフリーも大事だと思いました。

尾ヶ石東部小学校6年 宮本 和輝さん

(市長)住みやすい環境というよく熊本県が推進しておりますユニバーサルデザインということもあると思います。やはり各施設それぞれ段差もありますし、お年寄りが外に出てこられたとき、こいさなでこぼこ道でつまづくということもありますから、お年寄りに配慮する必要があります。



みんなが環境にいいことをする市になってほしいです。車のほどんどがハイブリッドカーを使って二酸化炭素を少なくして地球温暖化を防いだり、ゴミのポイ捨てを無くし、美しい阿蘇市であってほしいです。また、お年寄りの方々が楽しく安全に暮らせるような市にもなってほしいです。また、農家を継ぐ若い人たちが増えていくように、農業はすばらしいということを伝えていくキャンペーンなどをしてほしいです。そしてこの阿蘇が発展していいと思っています。

内牧小学校6年 伊藤 雅人さん

(市長)地球温暖化については、今後防いでいかなければならない問題だと思います。この自然環境をとにかく大事にしていく、自然とよく共生をしながら私たちの生活を今後も育てて繁栄させていくことがこの阿蘇に与えられた大きな使命であると思っていますので、今後力を合わせてやっていきたいと思っています。



昨年僕たちは阿蘇西小学校の土器の発掘に参加したところ、阿蘇にはたくさん古墳があることがわかりました。僕は虎舞、遺跡、古墳を大切にしたいと思っています。この大切な阿蘇の歴史を無くしてはいけません。そこで、阿蘇の歴史をまとめて置いておく歴史資料館を建ててほしいと思います。歴史を保存しておくこともできるし、いつでも見学にいけるといいと思います。ぜひ歴史資料館の検討をお願いします。

山田小学校6年 荒木 将太さん

(市長)歴史資料館というものを造ってほしいということでしたが、合併して阿蘇市となり文化的にも歴史的にも一体となった一つの面が作られたと思っています。こういうすばらしい遺産を今後残していくようにしっかりと取り組み考えていかなければならないと思っています。



希少植物を守るために、この阿蘇にも希少植物園を造れたらいいなと思います。人間が手を加えて植物を育てるのではなく、自然のままに植物が自由に咲く植物園ができたらいいなと思います。つまり植物園を造るというよりも野原を守り続ける格好が必要だと思います。阿蘇の野原を市立自然公園に指定して、人々は自然のままに植物を観察できるようにすると阿蘇の自然が豊かになると思います。

波野小学校6年 水野 浩平さん

(市長)希少植物についてですが、私たちが今後も大事にし、盗掘するような人たちに対して警告をしていかなければならないと思っています。皆さんと力を合わせてそういう山野草を一つ一つチェックしながら、希少植物を守っていく施設も作りあげていくことが必要であろうと思います。